

3 選挙権

投票箱

有権者として自覚ある一票を！

生活につながっている選挙。明日の自分のために、あなたに与えられた一票をぜひ生かしてください。

一票には先人の努力と長い歴史の重みがある

法律で成人と認められると得られる権利の一つとして「選挙権」があります。現在では、20歳以上の日本国民の誰もが持っている選挙権ですが、かつてはごく一部の人のみしかその権利がありませんでした。明治23年、日本で初めての衆議院選挙が行われました。この当時の有権者は、25歳以上の男性で、直接国税を15円以上納めている人のみに限られており、該当者は国民全体のわずか1.1%。大半の人が、その選挙の様子を珍しそうに見物していたそうです。当時、成年男子全体に兵役義務が課せられていたにもかかわらず、政治参加が認められるのは一部の

今年の新成人に聞きました

Q3. 投票には行きますか？	
行く予定	81.5%
行かないと思う	18.5%

Answer

お金持ちのみ。大半の人は政治に全く意見を言えないということに批判の声があがり、各地であらゆる団体が集会やデモを行い、少しずつ納税要件が緩和されていきました。また、女性も「婦人参政権獲得運動」を起こし、昭和20年、ついに男女平等に選挙権を手にし、現在の普通選挙が実現しました。現代では当たり前にある選挙権。しかし、わたしたちに与えられた一票は、先人の努力によって勝ち得た、血と汗と涙の一票なのです。本来なら棄権などできるはずありません。選挙権というものは、それだけの重みがあるべきものではないでしょうか。人間の尊厳を、はつきりと示す時代を築いてくれた先人たち。その思いを受け継ぎ、意思表示の一票を投じましょう。

他人ごとではない暮らしとの密接な関係

実際、選挙は自分の生活にどんな影響を及ぼすのでしょうか。「他人ごと」と考えられがちですが、実はわたしたちの生活に深く関連しています。

わたしたちがより良く暮らすためには、例えば教育や医療、福祉などに関する制度をどうするのか、道路や公園をどこにつくるのかといったようなことを決めていかなければなりません。こうした問題を国や地域で話し合っただけでいくのが政治の仕事です。ただ、住民全員が集まって話し合うのは無理なので、政治家を選び、その人たちが話し合うという方法をとっています。今は、その代表をわたしたちが、わたしたちの手で、自由に選べる時代。選挙権は、その「選ぶ判断」ができるのみならず、わたしたちに与えられる「選挙に参加できる権利」なのです。

若者の投票率が低いと政治が高齢者寄りに

福智町の新成人へのアンケートでは「選挙に行く予定」と答えた人が8割を超えました。これは非常にすばらしいことです。

しかし、全国的な世代別投票率

若い力が社会を変える!? 選挙に立候補する資格「被選挙権」

選挙の種類	被選挙権
衆議院議員 都道府県議会議員 市町村議会議員 市町村長	満25歳以上
参議院議員 都道府県知事	満30歳以上



現在、日本一若い市町村長は32歳(千葉市長)だそうです!

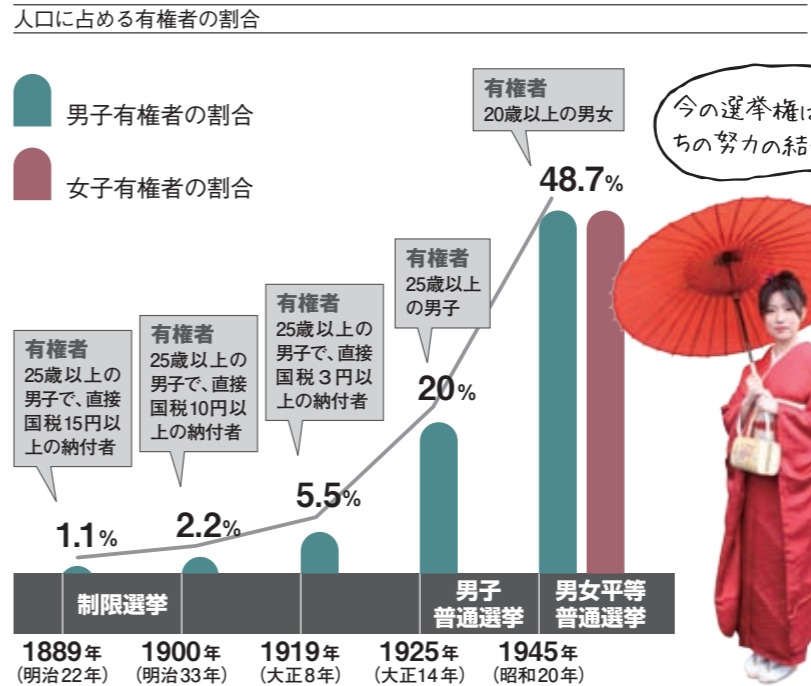
一票を投じる意味 まずはアクションを!

投票所に行ったこともない人は、めんどくさそうと感じているかもしれません。実際は家に送られてきたハガキ(投票入場券)を持って、そのハガキに書かれた投票所へ行き、渡された紙に名前を書く。

ただそれだけなのです。当日行かないという人は、ぜひ「期日前投票」「不在者投票」を。投票用紙に書くことができない人は、係員が代筆する「代理投票」という制度もあります。いまいち誰を指示すればよいか分からないという場合もあるかもしれませんが、それでも「一票を投じる」というアクションを起こすことが重要です。

多くの票の中で、わたしたちは「自分の一票が何になるのか」と考えがち。しかし、結局はその一票の積み重ねであり、投票すること自体が、自分が生活していく上での、政治に対する意思表示となるのです。

今では20歳以上の誰でも得ることができる選挙権 かつてはごく一部の人のみしかその権利がなく 現在に至るには大変な努力と長い歴史がありました



今の選挙権は先人たちの努力の結果です!

選挙は大人に与えられた権利はたちにならたら必ず行こう!



Interview

まずは自分たちの住む地域に関心を持ってもらいたい

新成人のみなさんが政治に対して疎いのは当前。知らないことは何もかっこ悪いことではありません。知ろうとしない、関心を持たないことが問題です。権利と義務は同じで、車の両輪のようなもの。税金を納めているんだから何か恩恵があつて良いだろう。ではなく、まずは社会の一員として政治に関心を持ってもらい、受け身にならず前向きにかかわってもらうことが大切だと思います。他力本願ではなく、自分たちのことは自分たちで良くする。その第一歩が選挙です。投票する権利があるのだから、単純な理由で大切な権利を放棄せず、政治に対し、曲がったことでも何でもいいので、意見を出していきましょう。

福智町明い選挙推進協議会
柴田 鐵男 会長